

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
コース名(主履修分野名)	言語文化学コース (中国語学中国文学)

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)
-----------------------	------------------------

<p>人文学類では、人間の行動・思考・創造、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする学問(コース・専門分野)の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ以下のような学類の学習成果を上げた者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テキストを正確に読解することができる。 2. 文化や社会、人間行動に関して、課題を発見することができる。 3. 課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。 4. 知識を人びとと共有するために、自らの議論を説得的かつ論理的に口頭あるいは文章で表現できる。 5. 他者理解に対する高い関心とコミュニケーション能力を持つ。 6. 複数の議論を整理し、それらを総合する思考力を持つ。 	<p>言語文化学コースでは、人間の言語・文化・思想・歴史、思考・創造・行動について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする言語文化学コースの各専門分野の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような言語文化学コースの学習成果を上げた者とする。</p>
--	--

学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)	コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)
-----------------------	--

<p>【学類のCP】 人文学類の学問体系の骨格を理解できるよう、カリキュラムのシステムを構築している。入学初年次は基礎的な科目を学び、学年進行に従って応用的・発展的な科目を学ぶ。特に3、4年次生は進路に即した科目を学ぶ。</p> <p>【コースのCP】 1年次には、学類共通英語に通じる英語学習の基礎固めとともに初習言語(独仏中など)を学び、翻訳練習や日本文学漢文学の読解を介して日本語による記述力の訓練も行う。2年次から6つの専門分野に分かれ、各国の語学・文学の概説や言語分析と文学作品読解に必要な基礎概念などを学ぶ。3年次では、その知識の集積をもとに、言語の差異を超えた抽象的、論理的な言語分析方法や、言語作品の多様性と言語文化に対する複眼的な理解力を高める。4年次には、自分で選定した研究課題について、「卒業論文演習A・B」を中心に資料収集と整理の技術を鍛える。また、その資料をもとに意見を組み立て発表する能力を養い、自分の見解に基づいて他人を説得できる、社会でも通用する力量を養成する。</p>	<p>コトバと文学の科学的研究にとって必要なテキスト分析の知識及び方法論を理解する。</p> <p>外国事情に関心を持ち、外国語のコミュニケーション能力をもつ。</p> <p>複数の言語文化に触れることにより自らの思考方法を内省し、文化的アイデンティティを獲得する。</p> <p>ひろく言語文化に関する課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。</p> <p>討論やプレゼンテーションの経験を積むことにより、意見発表能力を鍛える。</p> <p>原典を講読することにより、翻訳では理解し得ない異文化の特徴を理解し、学問的深化を実現する。</p>
---	--

専門分野のカリキュラム

科目番号	授業科目名	学生学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4						
21401	言語研究入門	語学研究に取り組むための基礎的知識と基本的な方法論を習得する。	2	*				◎		◎	○		
21402	文学研究入門	文学研究に取り組むための基礎的知識と基本的な方法論を習得する。	2		*			◎		◎	○		
21405	中国語学概説A	中国語スクールグラマーの知識を基礎とし、中国語を分析する基礎知識及び基礎技能を習得する。	2	*	*					◎	○		
21406	漢文学概説	中国古典の各ジャンルと古代文化の特質を理解する。	1			*	*	○		◎			
42038	中国語学概説B	中国語音声に関する知識を習得しながら、比較対照の観点から日本語や英語の音声との差異を考察し、音声分析の方法を学ぶ。	2	*	*					○	◎		
42037	中国語学研究	中国語の基礎語彙を対象に、文献と方言からのアプローチによって、語の歴史を再構成する。	2			*	*			◎	○		
42039	中国文学概説	中国近現代文学の各ジャンルについて学び、原典講読を通じて作品分析の方法や理論を習得する。	2	*	*			○					◎
42005	中国文学史A	(1)中国古典白話文学に親しみ、作品の背景にある通俗文化について理解を深める。(2)作品研究に必要な分析方法と理論を学ぶ。	2			*	*	◎					○
42006	中国文学史B	(1)中国近現代文学に親しみ、作品の背景にある歴史的な文脈を理解する。(2)作品研究に必要な分析方法と理論を学ぶ。	2	*	*			◎					○
42014	中国文学研究A	芸能文献の読解力を養い、中国語資料の収集分析能力を身につける。	2	*	*						○		◎
42015	中国文学研究B	原典の精読や映像鑑賞を通して専門のテーマに関する高度なコミュニケーション能力を身につける。	2			*	*		◎				○
42003	漢文学史A	(1)中国古典・中世の文語体文学の歴史について学ぶ。(2)中国古典の読解を通じ外国の文化、思想について理解を深める。	2	*	*			○		◎			
42004	漢文学史B	(1)中国近世の文語体文学の歴史について学ぶ。(2)中国古典の読解を通じ外国の文化、思想について理解を深める。	2	*	*			○		◎			
42040	中国の文化と社会C1	中国の文化・社会論および歴史について理解を深め、これらに関する中国語表現を学習する。	2	*					◎		○		
42041	中国の文化と社会C2	中国の文化・社会論および歴史について理解を深め、これらに関する中国語表現を学習する。	2		*				◎		○		
42042	中国語コミュニケーションA1	中国語の基礎的文法事項をマスターし、中国語検定3級又はHSK4級合格相当の中国語運用能力を身につける。	2	*					◎				
42043	中国語コミュニケーションA2	中国語の基礎的文法事項をマスターし、中国語検定3級又はHSK4級合格相当の中国語運用能力を身につける。	2		*				◎				
42044	中国語コミュニケーションB1	ネイティブ教員による中国語作文と会話の練習を通じて、中国語検定3級又はHSK4級合格相当の中国語運用能力を身につける。	2	*					◎				

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
コース名(主履修分野名)	言語文化学コース (中国語学中国文学)

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)
-----------------------	------------------------

<p>人文学類では、人間の行動・思考・創造、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする学問(コース・専門分野)の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ以下のような学類の学習成果を上げた者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テキストを正確に読解することができる。 2. 文化や社会、人間行動に関して、課題を発見することができる。 3. 課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。 4. 知識を人びと共有するために、自らの議論を説得的かつ論理的に口頭あるいは文章で表現できる。 5. 他者理解に対する高い関心とコミュニケーション能力を持つ。 6. 複数の議論を整理し、それらを総合する思考力を持つ。 	<p>言語文化学コースでは、人間の言語・文化・思想・歴史、思考・創造・行動について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする言語文化学コースの各専門分野の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような言語文化学コースの学習成果を上げた者とする。</p>
---	--

学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)	コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)
-----------------------	--

<p>【学類のCP】 人文諸学の学問体系の骨格を理解できるよう、カリキュラムのシステムを構築している。入学初年次は基礎的な科目を学び、学年進行に従って応用的・発展的な科目を学ぶ。特に3、4年次生は進路に即した科目を学ぶ。</p> <p>【コースのCP】 1年次には、学類共通英語に通じる英語学習の基礎固めとともに初習言語(独仏中など)を学び、翻訳練習や日本文学漢文学の読解を介して日本語による記述力の訓練も行う。2年次から6つの専門分野に分かれ、各国の語学・文学の概説や言語分析と文学作品読解に必要な基礎概念などを学ぶ。3年次では、その知識の集積をもとに、言語の差異を超えた抽象的、論理的な言語分析方法や、言語作品の多様性と言語文化に対する複眼的な理解力を高める。4年次には、自分で選定した研究課題について、「卒業論文演習A・B」を中心に資料収集と整理の技術を鍛える。また、その資料をもとに意見を組み立て発表する能力を養い、自分の見解に基づいて他人を説得できる、社会でも通用する力量を養成する。</p>	<p>コトバと文学の科学的研究にとって必要なテキスト分析の知識及び方法論を理解する。</p> <p>外国事情に関心を持ち、外国語のコミュニケーション能力をもつ。</p> <p>複数の言語文化に触れることにより自らの思考方法を内省し、文化的アイデンティティを獲得する。</p> <p>ひろく言語文化に関する課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。</p> <p>討論やプレゼンテーションの経験を積むことにより、意見発表能力を鍛える。</p> <p>原典を講読することにより、翻訳では理解し得ない異文化の特徴を理解し、学問的深化を実現する。</p>
---	--

専門分野のカリキュラム

科目番号	授業科目名	学生学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4								
42045	中国語コミュニケーションB2	ネイティブ教員による中国語作文と会話の練習を通じて、中国語検定3級又はHSK4級合格相当の中国語運用能力を身につける。	2		*				◎						
42046	中国語コミュニケーションC1	中国語の文章読解と作文練習を通じて、中国語検定3級又はHSK4級合格相当の中国語運用能力を身につける。	2			*			◎						
42047	中国語コミュニケーションC2	中国語の文章読解と作文練習を通じて、中国語検定3級又はHSK4級合格相当の中国語運用能力を身につける。	2				*		◎						
42048	中国語コミュニケーションD1	ネイティブ教員による中国語作文と会話の練習を通じて、中国語検定3級又はHSK4級合格相当の中国語運用能力を身につける。	2				*		◎						
42049	中国語コミュニケーションD2	ネイティブ教員による中国語作文と会話の練習を通じて、中国語検定3級又はHSK4級合格相当の中国語運用能力を身につける。	2				*		◎						
42050	中国語表現法A1	(1)使用できる中国語の語彙数を増加させる。(2)読解を通じて基礎文型やイデオムを習得する。	3	*					◎						
42051	中国語表現法A2	(1)使用できる中国語の語彙数を増加させる。(2)読解を通じて基礎文型やイデオムを習得する。	3		*				◎						
42052	中国語表現法B1	(1)議論に必要な中国語表現を多く習得する。(2)自分の問題意識を正確に伝える表現力を訓練する。	3			*			◎						
42053	中国語表現法B2	(1)議論に必要な中国語表現を多く習得する。(2)自分の問題意識を正確に伝える表現力を訓練する。	3				*		◎						
42054	現代中国時事文A1	多様な中国関係の報道の視聴、読解を通じて、中国語で中国の現代事情について正確に理解する。	3	*					○					◎	
42055	現代中国時事文A2	多様な中国関係の報道の視聴、読解を通じて、中国語で中国の現代事情について正確に理解する。	3		*				○					◎	
42056	現代中国時事文B1	現代中国時事文Aや中国語表現法Aで習得したことを踏まえ、自分の見解を確立し中国語で議論できること。	3			*			○					◎	
42057	現代中国時事文B2	現代中国時事文Aや中国語表現法Aで習得したことを踏まえ、自分の見解を確立し中国語で議論できること。	3				*		○					◎	
42058	中国語文献読解基礎A1	短篇の物語を講読し、正確な発音と中国語の文章を中国語で説明できる表現力、読解力を身につける。	2	*					○						◎
42059	中国語文献読解基礎A2	短篇の物語を講読し、正確な発音と中国語の文章を中国語で説明できる表現力、読解力を身につける。	2		*				○						◎
42060	中国語文献読解基礎B1	現代作家又は当代作家の作品の講読を通じて、正確な発音と読解力の向上を目指す。	2			*			○						◎
42061	中国語文献読解基礎B2	現代作家又は当代作家の作品の講読を通じて、正確な発音と読解力の向上を目指す。	2				*		○						◎

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
コース名(主履修分野名)	言語文化学コース (中国語学中国文学)

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)
<p>人文学類では、人間の行動・思考・創造、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする学問(コース・専門分野)の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ以下のような学類の学習成果を上げた者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テキストを正確に読解することができる。 2. 文化や社会、人間行動に関して、課題を発見することができる。 3. 課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。 4. 知識を人びとと共有するために、自らの議論を説得的かつ論理的に口頭あるいは文章で表現できる。 5. 他者理解に対する高い関心とコミュニケーション能力を持つ。 6. 複数の議論を整理し、それらを総合する思考力を持つ。 	<p>言語文化学コースでは、人間の言語・文化・思想・歴史、思考・創造・行動について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする言語文化学コースの各専門分野の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような言語文化学コースの学習成果を上げた者とする。</p>

学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)	コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)
<p>【学類のCP】 人文諸学の学問体系の骨格を理解できるよう、カリキュラムのシステムを構築している。入学初年次は基礎的な科目を学び、学年進行に従って応用的・発展的な科目を学ぶ。特に3、4年次生は進路に即した科目を学ぶ。</p> <p>【コースのCP】 1年次には、学類共通英語に通じる英語学習の基礎固めとともに初習言語(独仏中など)を学び、翻訳練習や日本文学漢文学の読解を介して日本語による記述力の訓練も行う。2年次から6つの専門分野に分かれ、各国の語学・文学の概説や言語分析と文学作品読解に必要な基礎概念などを学ぶ。3年次では、その知識の集積をもとに、言語の差異を超えた抽象的、論理的な言語分析方法や、言語作品の多様性と言語文化に対する複眼的な理解力を高める。4年次には、自分で選定した研究課題について、「卒業論文演習A・B」を中心に資料収集と整理の技術を鍛える。また、その資料をもとに意見を組み立て発表する能力を養い、自分の見解に基づいて他人を説得できる、社会でも通用する力量を養成する。</p>	<p>コトバと文学の科学的研究の中心を持ち、外国語のコミュニケーション能力をもつ。</p> <p>複数の言語文化に触れることにより自らの思考方法を内省し、文化的アイデンティティを獲得する。</p> <p>ひろく言語文化に関する課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。</p> <p>討論やプレゼンテーションの経験を積むことにより、意見発表能力を鍛える。</p> <p>原典を講読することにより、翻訳では理解し得ない異文化の特徴を理解し、学問的深化を実現する。</p>

専門分野のカリキュラム									
科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4		
42029	中国語学演習A	漢語方言に関するテキストを演習形式で講読し、方言分類と方言地理学の方法を学ぶ。	3	*	*				◎
42030	中国語学演習B	単語別の意味記述の方法について、辞書の比較作業を通して問題点を見出す。また、その問題点を解決してレポートにする。	3			*	*		◎
42062	中国語学テーマ別演習A	対照研究に必要な概念用語と定義を理解し、レポート作成に活用できるようにする。卒論でとりあげる具体的な言語資料に応じた理論構成ができるようにする。	3	*					◎
42063	中国語学テーマ別演習B	方言地理学の一連の作業と考察を通じて、複雑な事象から問題を発見し、解決していく能力を身につける。卒論につながる実践的研究の手がかりとする。	3			*			◎
42031	中国文学演習A	中国小説の読解力を養い、小説を分析する方法論や理論を習得する。	3	*	*				◎
42032	中国文学演習B	現代中国事情を理解し、近現代文学の作品を読み解く能力を習得する。	3			*	*		◎
42064	中国文学テーマ別演習A	(1)中国古典詩文の原典講読を通じて文言文の読解力を向上させる。(2)先行研究の成果を把握し、作品研究の方法を学ぶ。	3		*			◎	◎
42065	中国文学テーマ別演習B	(1)中国古典詩の原典講読を通じて、文言文の読解力を向上させる。(2)先行研究の成果を把握し、作品を分析する方法論を習得する。	3			*		◎	◎
31001	卒業論文演習A	・研究計画、研究の遂行、成果の取りまとめという一連の過程を実践的に学ぶ。 ・専門分野における研究課題の設定、先行研究の調査・読解の適切な方法を身につける。 ・学術論文の形式を理解する。	4	*		*			◎
31002	卒業論文演習B	・研究計画、研究の遂行、成果の取りまとめという一連の過程を実践的に学ぶ。 ・専門分野において適切な研究計画を遂行するための技法、考え方を身につける。 ・得られた情報を総合的に考察し、研究成果を的確に報告できるようになる。	4		*	*			◎
31003	卒業論文	・学術論文の習作と位置づけられる論文を執筆することで、自らの研究成果を公表する技法を学ぶ。 ・人文学の学問において要求される論理性や科学性の質、水準を理解し、それを充たすために必要な論述の条件について知る。	4		*	*		◎	◎
11057	人文学序説A	・人文学類における学問の方法を学ぶとともに、主履修分野・特別プログラムで学ぶ内容の概要を把握する。 ・ラボラトリ(実験)、サーベイ(調査と分析)という方法の基礎的な知識を理解する。	1	*		(*)		◎	
11058	人文学序説B	・人文学類における学問の方法を学ぶとともに、主履修分野・特別プログラムで学ぶ内容の概要を把握する。 ・フィールドワーク(野外実習・調査)という方法の基礎的な知識を理解する。	1		*	(*)		◎	

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
コース名(主履修分野名)	言語文化学コース (中国語学中国文学)

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)
-----------------------	------------------------

<p>人文学類では、人間の行動・思考・創造、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする学問(コース・専門分野)の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ以下のような学類の学習成果を上げた者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テキストを正確に読解することができる。 2. 文化や社会、人間行動に関して、課題を発見することができる。 3. 課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。 4. 知識を人びと共有するために、自らの議論を説得的かつ論理的に口頭あるいは文章で表現できる。 5. 他者理解に対する高い関心とコミュニケーション能力を持つ。 6. 複数の議論を整理し、それらを総合する思考力を持つ。 	<p>言語文化学コースでは、人間の言語・文化・思想・歴史、思考・創造・行動について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする言語文化学コースの各専門分野の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような言語文化学コースの学習成果を上げた者とする。</p>
---	--

学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)	コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)
-----------------------	--

<p>【学類のCP】 人文諸学の学問体系の骨格を理解できるよう、カリキュラムのシステムを構築している。入学初年次は基礎的な科目を学び、学年進行に従って応用的・発展的な科目を学ぶ。特に3、4年次生は進路に即した科目を学ぶ。</p> <p>【コースのCP】 1年次には、学類共通英語に通じる英語学習の基礎固めとともに初習言語(独仏中など)を学び、翻訳練習や日本文学漢文学の読解を介して日本語による記述力の訓練も行う。2年次から6つの専門分野に分かれ、各国の語学・文学の概説や言語分析と文学作品読解に必要な基礎概念などを学ぶ。3年次では、その知識の集積をもとに、言語の差異を超えた抽象的、論理的な言語分析方法や、言語作品の多様性と言語文化に対する複眼的な理解力を高める。4年次には、自分で選定した研究課題について、「卒業論文演習A・B」を中心に資料収集と整理の技術を鍛える。また、その資料をもとに意見を組み立て発表する能力を養い、自分の見解に基づいて他人を説得できる、社会でも通用する力量を養成する。</p>	<p>コトバと文学の科学的研究にとって必要なテキスト分析の知識及び方法論を理解する。</p> <p>外国事情に関心を持ち、外国語のコミュニケーション能力をもつ。</p> <p>複数の言語文化に触れることにより自らの思考方法を内省し、文化的アイデンティティを獲得する。</p> <p>ひろく言語文化に関する課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。</p> <p>討論やプレゼンテーションの経験を積むことにより、意見発表能力を鍛える。</p> <p>原典を講読することにより、翻訳では理解し得ない異文化の特徴を理解し、学問的深化を実現する。</p>
---	--

専門分野のカリキュラム

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4					
11059	人文学序説C	・人文学類における学問の方法を学ぶとともに、主履修分野・特別プログラムで学ぶ内容の概要を把握する。 ・哲学・歴史学分野における具体的な研究実践やテキスト(文献)の扱い方について基礎的な知識を理解する。	1	(*)		*			○			
11060	人文学序説D	・人文学類における学問の方法を学ぶとともに、主履修分野・特別プログラムで学ぶ内容の概要を把握する。 ・言語や文学に関するテキスト(文献)の扱い方について基礎的な知識を理解する。	1		(*)	*			○			
11061	学類共通英語A	・人文学の諸学問を学んでいくための基礎的な英語力を身につける。 ・英語で書かれた文献を読解し、専門分野における研究成果や考え方を英語で理解する力を身につける。	3	*					◎			○
11062	学類共通英語B	・人文学の諸学問を学んでいくための基礎的な英語力を身につける。 ・「学類共通英語A」より高いレベルで、英語で書かれた文献を読解し、専門分野における研究成果や考え方を英語で理解する力を身につける。	3		*				◎			○

※ (*)は年度によって開講時期が異なることを示します。